



学会、研究会では埋め込み式コンセンートの使用を禁止しましょう(続報)

新潟県立新発田病院リウマチセンター

伊 藤 聡

昨年、某学会（と記載したが日本リウマチ学会2025である）に参加時、出しっぱなしの埋め込み式コンセンートに躓き転倒し、左手母指基節骨の裂隙骨折をきたしたことを報告した¹⁾。今後学会、研究会を行う場合、学会研究会本部、またコンベンション会社に、「会場内の埋め込み式コンセンートは非常に危険であり、封鎖し使用を禁止すべきという共通認識を持ってもらいたい」と記載した。また、ある先生からは産業医として同じような経験をすることがあると教えていただいた、と記載した¹⁾。ある先生とは、慶応大学医学部膠原病・リウマチ内科教授の、金子祐子先生であり、「皆さ埋め込み式コンセンートと言っても想像できないでしょうから」と写真を送ってきてくださった（写真1）。今回お名前を出すことはご許可をいただいている。私は自分の怪我が何か自分に対してポジティブな意味を持つようにしようと、手の外科研究所病院での腋窩ブロックによる手術の後、個室を借り右手一本で論文を書き始めた。通常大きい学会で発表した内容は、掲載まで3年くらいかかるのだが、今回は1年以内で掲載にこぎつけた²⁾。我ながらすさまじい精神力であると自画自賛している。ある人は、「伊藤先生は体形もそうだが、ターミネーターのようだね」と言っていた。そうなのだ。スケルトンになっても（1号）、あるいはバラバラになっても（2号）起き上がってくるのだ。今回県医師会報のインパクトファクター？ に驚いた。某ホテルで新潟大学整形外科教室の同窓会が行われたのだが、私がそのホテルのバーで飲んでいると先輩達が二次会のために来られた。「伊藤君、大変だったなあ。」と先輩達。中には初めてお目にかかった県外勤務の先生も私の怪我をご存じだった。「さすが整形外科の先生



写真1 埋め込み式コンセンート（慶応大学医学部膠原病・リウマチ内科教授、金子祐子先生よりご供与）

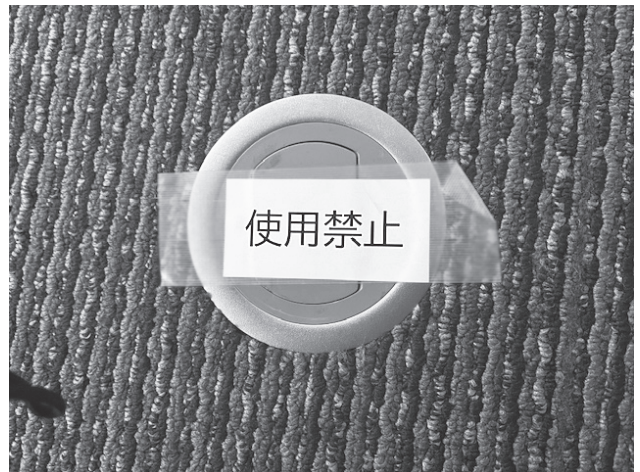


写真2 日本リウマチ学会2026で使用禁止になった埋め込み式コンセンート

達だ、手の怪我、外傷（顔面）には関心があるのだな」と思った。さて、自分の怪我を何か世の中のためにしようとする私なので、コンベンション会社に私の県医師会報を配布し、同業者のミーティングで埋め込み式コンセンートのリスクを報告す

るよう依頼し実行された。その後行われた数回のリウマチ関連の学会では、各学会長に埋め込み式コンセンートを封印するよう依頼した。各学会長さん達はちょうど私の卒業学年前後の先生方でいわゆるメル友だったのである。そして今年の日本文リウマチ学会が同じ会場で行われた。シンポジウムで北海道大学名誉教授の渥美達也会長とご一緒したが、「伊藤先生、御覧ください」と全館で使用禁止にした埋め込み式コンセンートを示してくださったのである（写真2）。私のただで黙っていない体質が、第二の犠牲者を防いだと感激であった。その後も親しい先生から、「伊藤先生、全館

埋め込み式コンセンあ使用禁止になっていましたね。伊藤先生の影響ですね」とお言葉をいただいた。

文献

- 1) 伊藤 聡：学会、研究会では埋め込み式コンセンあの使用を禁止しましょう。新潟県医師会報 2025；904：18-19.
- 2) 伊藤 聡, 吉川 朋, 伊藤遼介, 他：当院の関節リウマチ患者におけるエタネルセプト電動デバイス（クリックワイズ®）の使用経験－第2報－. 臨床リウマチ 2025；37：235-244.

新潟県医師会協力テレビ放送

新潟県医師会では県内の放送局と協力し、病気予防・健康相談・検診案内など、県民向けの健康情報を提供しております。是非ご覧ください。待合室などでもご利用ください。

■NST News タッチ「医師に聞く」コーナー

放送時間：18：09～19：00

(敬称略)

放送日	テーマ	出演者
7月29日(水)	生理痛は我慢しないで	うえだクリニック院長 新潟県医師会副会長 上田 昌博
8月26日(水)	不登校	長岡赤十字病院 小児科 新潟県医師会理事 田中 篤
9月30日(水)	震災関連対策	新潟大学大学院医歯学総合研究科 災害医学・医療人育成分野 特任教授 高橋 昌
10月28日(水)	女性の低体重 / 低栄養症候群 (FUS)	新潟大学大学院医歯保健学研究科 血液・内分泌代謝内科学分野 教授 曾根 博仁

*放送日、内容は予告なく変更になる場合がございます。予めご了承ください。